



## 12月のごあいさつ

先月の下旬、恒例になっている**法人会の税制改正の提言**を、中部法人会の比嘉会長と県連の照屋専務と一緒に、**県内選出国會議員**の先生方にお届けし（全国110万社会員と県内9千社の税制改正に関する提言書—今年の1月から、約9ヶ月間20回以上の会議にかけての成果）、併せて提言の要旨に関する質問を行い、11月末期限で回答を求めました。

沖縄県法人会連合会の次回理事会等でご意見の比較公表を行うということで。

### 税制改正の提言に関する国会議員のご意見

沖縄県法人会連合会  
FAX 857-0353, TEL 857-0352

| No. | 提言に関する質問（要旨）   | 先生のご意見     |
|-----|--|------------|
| 1.  | <b>増税一色の秋。</b><br>（消費に活力の見られない現状で）<br>日本は大丈夫でしょうか。                                       |            |
| 2.  | 沖縄（日本）の中小企業は、<br>世代交代期に来ております。<br><b>事業承継税制</b> は中小企業に<br>厳しすぎるのではないでしょ<br>うか。（諸外国と比較して） |            |
| 3.  | <b>年金問題</b> は、社会的問題とな<br>っております。<br>その対策と制度改革の構図は。                                       | ご意見<br>回収中 |
| 4.  | <b>沖縄振興</b> のための地域金融や<br>沖縄金融特区の役割はいかに。<br>ハードの提言のみでなくソフト<br>の必要性があるのでは。                 |            |
| 5.  | <b>ふるさと納税</b> について、どの<br>ようにお考えでしょうか。<br>地方の自立といった観点から。                                  |            |

